

事業所名

児童発達支援センター熊本県ひばり園

支援プログラム

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念	子どもの人格・個性・思いを尊重し、保護者との共通理解のもと、ことばやコミュニケーション・全体発達が促されるための支援を行い、「子どもの生きる力」、「豊かな人間性」、「自分らしく生きる力」を育むことを目指し支援していきます。					
支援方針	1. 子どもの障がいの特性・発達・生活の状況を的確に把握し、子どもと保護者のニーズに合った個別支援計画を作成し、関わる方々と共に目標達成に努めます。 2. 保護者との日々の相談支援、学習会、保護者懇談会等の実施により、子どもの課題や強みを共に理解し支援していくよう努めます。 3. 多様化するニーズに対応できるよう、職員研修により職員の資質や専門性の向上に努めると共に、地域の幼稚園・保育園・認定こども園をはじめ、関係機関との連携を図ります。					
営業時間	8時	30分から	17時	15分まで	送迎実施の有無	
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	1. 健康（健康状態や健康管理）、2. 生活リズム（睡眠・覚醒状況）、3. 基本的生活スキル（排泄、食事動作、着脱、手洗い、うがい等）について、当園での直接支援や保護者から伺い状況把握し、「環境配慮の大切さ、感覚の理解、伝え方の工夫」に配慮しながらご家庭でも実践していただけるよう助言を行います。また、取り組みを関係機関と共有し、個に合った支援が共通してできるよう連携に努めます。				
	運動・感覚	1. 様々な感覚（前庭、固有、触覚、視覚、聴覚）の入力（過敏、鈍麻）や偏りの状況を把握し、それぞれに応じた手段で対応できるよう支援します。 2. 感覚統合の理論に基づき、必要に応じアセスメントを行い、遊びや生活の中で姿勢・運動（粗大・微細・協調）や生活動作の向上に努めます。 3. 難聴児は聴力検査の結果に応じて補聴器を調整し、個に合わせて視覚・触覚などの感覚を用いながら、聴覚活用できるよう支援します。				
	認知・行動	1. 個別・集団療育での状況把握や様々な検査の実施によりアセスメントし、個に合った方法で認知や概念形成が高まる支援を行い、保護者や関わる方と情報共有し支援します。 2. 体験活動や遊び、生活動作の中で、環境に配慮しながら『自分で見て、扱って、「わかった、できた、次もやってみたい』につながる、できることが増える』よう支援します。 3. それぞれの子どもの行動の意味を把握し、褒められたり過ごしやすくなるよう「好き一苦手」に配慮した環境調整を含む支援、保護者支援を行います。				
	言語 コミュニケーション	1. 共同注意の獲得をはじめ、子どもの興味に合わせて個々に配慮された場面で、子どもからの発信に大人が反応しわかる手段で関わることで、やりとりの意欲や楽しさがわかるよう支援します。【手段：音声、ジェスチャー、文字、記号、手話、指文字、行動、写真や絵カード、玩具や生活道具の実物など。方法：体験活動や遊び、絵本、絵日記を通じたやりとり】 2. 要求・拒否・選択など意思表示をはじめ、配慮された場面で人との相互作用を通して、子どもの意図・手段に合った関わりを行いコミュニケーション力を高めます。手段は関わる方や関係機関と共有します。				
	人間関係 社会性	1. それぞれの子どもに合った段階をふまえた遊びや、必要に応じ大人が介在してのやりとり（自分からの発信⇒相手の意図の汲み取り）を通して、安心して遊びが発展できる、アタッチメントの形成と安定を図ります。 2. 個に合わせた環境設定を行い、遊びの発展や人との関わりが深まるよう支援します。 3. 子どもが自分のことを知り、気持ちや状況を伝え、場に応じてコントロールする等、相手や場面を意識した行動が個々のペースで伸びるよう関わります。				
家族支援		・保護者同伴での療育を活かし、子どもに合った助言を行います。また、集団療育での学習会や外部からの講師を招いての定期的な学習会や講座を実施する事などを通じて、保護者に寄り添い少しでも安心して子育てが行えるよう支援します。	移行支援	1. 保護者と共に子どもの状況や支援方法をまとめたサポートシートや情報提供書を作成し移行先への情報提供を行います。 2. 必要に応じ支援会議を実施する等、スムーズな移行ができるよう支援します。		
地域支援・地域連携		熊本市児童発達支援センター機能強化事業、熊本市障がい児等地域療育支援事業、熊本県難聴児療育拠点施設事業受託と「ひばり園広場」（支援につながる前の親子のための相談）を開催します。 関係機関との連携：相談支援事業所、保育園・幼稚園・認定こども園、教育機関、医療機関、親の会、行政と連携します。また、熊本市自立支援協議会や熊本県、熊本市主催の会議に出席し、地域連携・地域支援に努めます。	職員の質の向上	・子どもの発達・特性、難聴、子育てに関する理解と支援方法や技法、虐待防止や非常時の対応、感染症予防や安全対策に関して、 1.定期的に県内外の対面・オンラインによる研修に参加する、 2.外部講師を招いての研修等、園内研修を充実させる、 3.関係機関との交流や職員同士での情報共有を通して、スキルアップを目指します。		
主な行事等		1. おみしり会、2. 夏祭り、3. ハロウィーンやクリスマス会、4. 買い物（ファストフード店や近隣の店舗）や散歩、5. おでかけ（動物園、運動公園、近隣の公園など）、6. 招待イベントへ参加（マクドナルドショーなど）、7. お別れ会（卒園児）。	卒園後：（言語）卒園児保護者懇談会、（難聴）卒園児保護者懇談会、夏休み聴力検査会、1年生・年長児交流会、中学3年生の集い等。			